

東京西部地区泌尿器科

専門研修プログラム

1. 東京西部泌尿器科専門研修プログラムの特色

本プログラムの研修では、北多摩南部医療圏における地域中核病院である杏林大学医学部付属病院（本専門研修プログラムの基幹研修施設）を基幹施設として、東京西部地区を中心にロボット支援手術が施行可能な9施設を含む計16の連携病院を擁し、一般的な泌尿器科としての研修はもちろんのこと、泌尿器腫瘍学、尿路結石治療、女性泌尿器などの幅広い専門的な領域の研修に対応しています。基幹施設である杏林大学医学部付属病院は、豊富な手術症例と外来患者を有しており、早い年代から他の施設に類を見ない術者経験を得ることが可能であり、臨床研究、基礎研究を行う設備および教育スタッフも充実しています。また湘南鎌倉総合病院（横須賀・三浦医療圏）、藤枝市立総合病院（藤枝・志太榛原医療圏）においては東京都以外の地域医療を経験できます。

本プログラムは、大学病院での研修を軸とすることで、専門医取得に向けて必要な業績や単位を難なく取得（学会発表・参加、論文作成など）しながら、泌尿器科医として必要な一般的な診療知識や優れた手術手技を習得すること、特に各々の専攻医が希望するサブスペシリティ領域（ロボット支援手術・尿路結石治療・女性泌尿器科など）での知識・技術を経験できることを目標としています。これに加えて地域医療と専門医療の両面へ配慮する事で、バランスのよい優れた泌尿器科専門医を育成する事を特色としています。

さらに様々な大学および大学医局出身者の在籍する連携施設と交流を図る機会も多くあり、幅広い人脈および自身の理想とする泌尿器科医像の構築に役立つと考えています。

2. 募集専攻医数

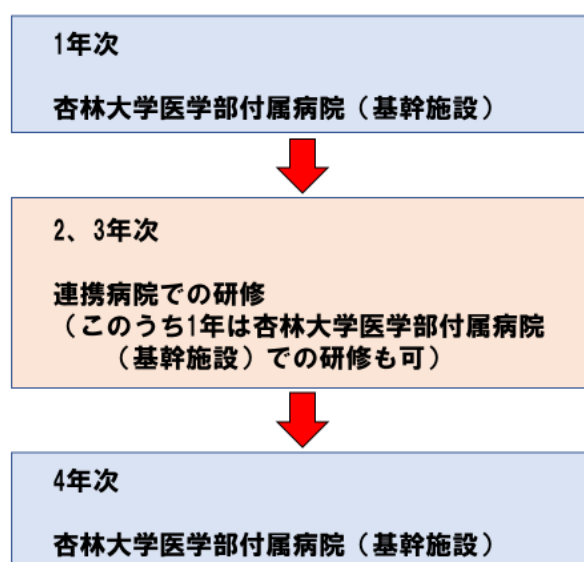
各専攻医指導施設における専攻医総数の上限（4 学年分）は、当該年度の指導医数×2です。各専門研修プログラムにおける専攻医受け入れ可能人数は、専門研修基幹施設および連携施設の受け入れ可能人数を合算したものです。受入専攻医数は病院群の症例数が専攻医の必要経験数を十分に提供できるものです。

これらの基準に基づき、毎年最大3名を採用できる状況です。

3. 専攻医研修ローテーション

(1) 基本的な研修ローテーションに関して

東京西部地区泌尿器科研修プログラムでは、4年間の研修期間のうち初年度と4年目の合計2年間は研修基幹施設である杏林大学医学部付属病院で研修する事としています。残りの2年間に関しては、原則、研修連携施設での研修となりますが、本人の希望や研修の進み具合に応じて、研修基幹施設での研修を最大3年間までは許容します。したがって原則的には2-3年目を研修連携施設で研修し4年目に研修基幹施設に戻って研修しますが、本人の希望や研修の進み具合により2年目以降の研修先に関しては専門研修プログラム管理委員会で決定することとします。



(2) 研修連携施設について

本プログラムの研修に関しては、北多摩南部医療圏における地域中核病院である杏林大学医学部付属病院（本専門研修プログラムの基幹研修施設）を中心に、計16の日本泌尿器科学会認定の拠点教育施設を含みます。特に東京西部地区に位置する病院での研修を基本とする事で、各地域拠点病院との連携を保ちながら豊富な臨床経験を得ることができ、腹腔鏡手術・ロボット支援手術をふくめた泌尿器科腫瘍・尿路結石・前立腺疾患などの幅広い領域にわたる一般的もしくは専門的泌尿器科手術や泌尿器救急疾患といった幅広い研修に対応することが可能です。また湘南鎌倉総合病院、藤枝市立総合病院において、東京以外の地域医療を経験できます。

東京西部地区泌尿器科専門研修プログラム基幹・研修連携施設

基幹・連携施設	日本泌尿器科 学会教育施設	泌尿器総 手術数 (年間)	ロボット 手術	腹腔鏡 手術	ESWL	その他の診療内 容の特徴など
杏林大学医学部付 属病院	拠点	1095	○	○	○	女性泌尿器
JCHO 東京新宿メ ディカルセンター	拠点	335		○	○	
JCHO 東京山手メ ディカルセンター	拠点	188		○	○	
河北総合病院	拠点	251		○		
国立病院機構災害 医療センター	拠点	205		○		
東京西徳州会病院	拠点	200	○	○		腎移植
東京大学医学部付 属病院	拠点	1285	○	○	○	腎移植
三井記念病院	拠点	805	○	○	○	
国立国際医療研究 センター	拠点	707	○	○	○	
都立多摩総合医療 センター	拠点	758	○	○		
青梅市立総合病院	拠点	700		○	○	
同愛記念病院	拠点	1177	○	○	○	
東京警察病院	拠点	771		○	○	
武蔵野赤十字病院	拠点	642		○		
日本赤十字医療セ ンター	拠点	822	○	○	○	腎移植
湘南鎌倉総合病院	拠点	204	○	○		腎移植
藤枝市立総合病院	拠点	700		○	○	
施設合計	拠点 17 施設	10845	9 施設	17 施設	11 施設	

4. 専攻医の募集および採用方法

東京西部地区泌尿器科研修プログラム管理委員会は、毎年7月から説明会等を行い、泌尿器科専攻医を募集します。プログラムへの応募者は、9月30日（変更可能性あり）までに研修プログラム責任者宛に所定の形式の『東京西部地区泌尿器科専門研修プログラム応募申請書』および履歴書を提出してください。申請書は(1) 杏林大学医学部泌尿器科のwebsite (<http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/user/medicine/urology>)よりダウンロード、(2) 電話で問い合わせ(0422-47-5511)、(3) e-mailで問い合わせ (nakamurayu1001@ks.kyorin-u.ac.jp 中村雄あて)、のいずれの方法でも入手可能です。原則として10月中（変更可能性あり）に書類選考および面接を行い、採否を決定して本人に文書で通知します。応募者および選考結果については3月の東京西部地区泌尿器科専門研修プログラム管理委員会において報告します。

研修を開始した専攻医は、各年度の5月31日までに以下の専攻医氏名報告書を、東京西部地区泌尿器科専門研修プログラム管理委員会、および日本泌尿器科学会の専門研修委員会に提出します。

- 専攻医の氏名と医籍登録番号、日本泌尿器科学会会員番号、専攻医の卒業年度、専攻医の研修開始年度
- 専攻医の履歴書
- 専攻医の初期研修修了証

5. 収入について（目安）

大学病院：大学 約400-700万円（役職により異なります）＋外勤 400万円以上
（合計1000万円前後となるよう調整）

関連病院：900-1200万円 前後（勤務先、医師年数により異なります）